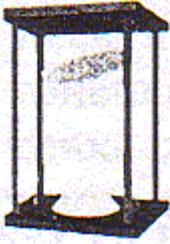


--	--

1年生 1学期 ワークブック 6. 時間と変化 (L1)

**トピック 6.****かこになにがあったか？****そしてみらいにはなにがあるだろうか？****(じかんとともにへんかするシステムたち)**

なぞなぞ。これはなんでしょう？

それはかえってこれない、

そして、かぎりがない。

それをとめることはできず、

すべてのものがその中にすむことができる。

それはわたしたちにつげる

いつ、しあわせやさいがいがおきたのか、

いつ、たんじょうびがくるだろうか、

そして、いつ、みやくがとまったのか、を。

それはノロノロとすすむことができ、

それはとてもはやくすすむことができる。

それはいろいろなくにのひとびとに、

いつ、テレビのがめんをつけるべきかをおしえる。

そして、みかいのぶぞくでさえ、

みんなが知っている。 それは・・・

じかんのえをかこう。



きょうはきみの「みらい」のすべてのじんせいのさいしょの日。

「それ」をうしなわないように、がんばろう！

まいあさ、きみがおきてからがっこうに行くまでのしたくを、えにかいてみよう。

.	.	.	.
---	---	---	---

.	.	.	.
---	---	---	---

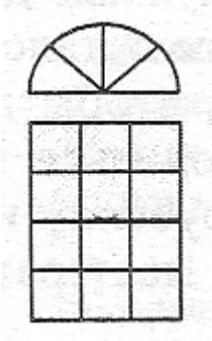
.	.	.	.
---	---	---	---

1年生 1学期 ワークブック 6. 時間と変化 (L2)



レッスン 2

1年生 1学期 ワークブック 7. まとめ (L1)



トピック 7.
ガラスの とし
(一がっきのまとめ)

まほうつかいのワケ・クムが、
おいわいのことばとなぞなどをおくってきましたよ。

ワケ・クムがおくってきた「**ガラスのかさ**」のお話を、きいてください。

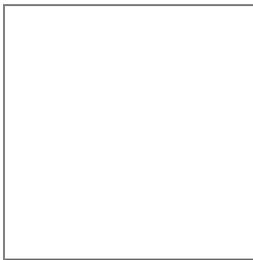
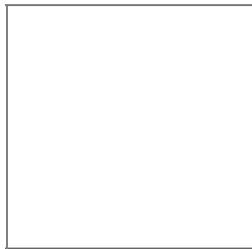
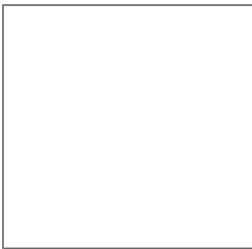
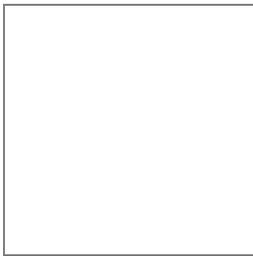
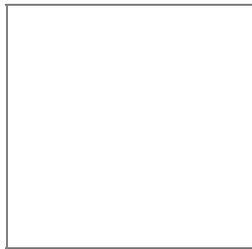
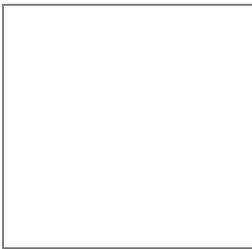
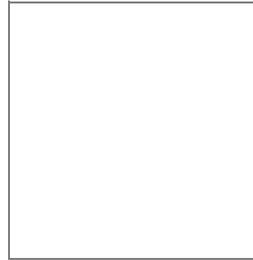
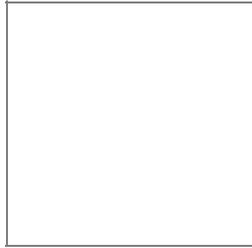
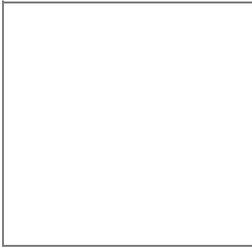
「**ガラスのかさ**」のお話を、下の9つのはこをつかって、かいてみましょう。

まん中のれつに、「**ガラスのかさ**」がはじめてできたときのこと、をかく。

そのまん中は、**ガラスのかさ**をかき、その下は「下のシステム」、
また上は「上のシステム」をかきます。

左のれつには、「**ガラスのかさ**」ができるまえのことをかきましょう。

右のれつには、「**ガラスのかさ**」がどんどんはってんしたみらいのことを
かきましょう。おもいついたとおりにかくとよいのです。



つぎは、「ガラスのくに」という 詩です。

ガラスの都市

ジャンニ・ロダリ作

こじきのジョヴァニーノ のろまとよばれ、
あるときボートにのっていて、
ちよとこらで一休み。

きがつけばあとおどろくしまの上
ぜんぶガラスでできていて
おひさんの下できらきら光る、
どの木もどの木も、いえいえも。

すいしょうのように人々はすきとおり、
すんだ水のように。
それでそこではおたがいに
考えがすぐに分かってしまう。

わたしがぼうしをあげると、
みんなはすぐに分かる
わたしがいま何をしているのか。

しかしみんなはとおりすぎる
ぼうしをあげないままで。
いつもたのしいとはかぎらない
みんなにぜんぶを知られたら。

子どものための CID コース
あたらしいことを思いえがく力をつける

小学校 1 年生 前期 ワークブック

おとぎ話の学校

原著： ナターリア・ルービナ

日本語版： 高原利生・福田ちはる・中川 徹 訳
『TRIZ ホームページ』(中川 徹 編集) 掲載

発行者： クレプス研究所 中川 徹

発行日： 2019 年 2 月 20 日

著作権者： Toru Nakagawa©2019